第二十三講　２種類ある「敬語」

★補助動詞　２つの「給ふ」

敬語の種類	活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
	四段活用						
	下二段活用						

●「給へ」の場合→「　　」（＝活用形）確認。

（例）

思ひ**給へ**ず。

渡らせ**給へ**れば、…

「忠度。」と名のり**給へ**ば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★謙譲の補助動詞「給ふ」の特徴

①「　　　」・「　　　」で使用。

（例）「忠度」と名のり**給へ**ば、…

「この際まで立ち寄らせ**給へ**。」とのたまへば、…

②「　　　」・「　　　」・「　　　」・「　　　」にしか付かない。

（例）「この際まで立ち寄らせ**給へ**。」とのたまへば、…

「～聞き**たまへ**て…」

③主語は「　　　」（＝　　　）

④訳は「～　　　」・（「～　　　」）

⑤敬意の方向＝聞き手に対する敬意

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次の傍線部の敬語の種類として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「思う[a]たまへられし…」

「習ひ[b]たまへる…」

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　　b＝

問二　「今宵、夜ひと夜思し騒ぐを見給へつれば、…」の傍線部の活用の種類と敬語の種類について答えよ。

問三　次の傍線部のうち、敬語の種類の異なるものを一つ選べ。

「～なほたち返り紅葉もいかにと思ひ[ア]たまへてなむ。旅寝もしつべき木のもとにこそ」とて、見出だし[イ]たまへり。
〈中略〉「さま変り[ウ]たまへらんさまを、いささか見せよ」と、少将の尼にのたまふ。「それをだに、契りししるしにせよ」
と責め[エ]たまへば、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「憚りあるまじうなん見給ふる。」の「給ふる」と敬語の種類が同じものを、次の中から選べ。

ア　聞えさせ給ひて…
イ　思ひ給へしなり。
ウ　違へさせ給ふな。
エ　ねびまさらせ給へるを…
オ　見奉り給ふ御気色…

問五　次の傍線部の中には、敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）が他と異なるものが一つ含まれている。その語を選べ。

「～われよりほかのとのみ、ア思ひたまへつつ過ぐしはべる…」
「ただいかにもイのたまはするままにとウ思ひたまふるを、…」
「見苦しきことにエ聞こえさすらむ。」

問六　「まかり出でて見給へむと思ひ給へしに、年はまかり老いにたり、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（陽成院が）御覧になると思いましたが
イ　（陽成院が）御覧になるはずがないと思いましたので
ウ　拝見しようと思いましたが
エ　見るのを諦めようと思ったのですが
オ　孫が姿を現すのを期待していたのですが

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★『２種類ある敬語本動詞』

●「覚えておくべき**尊敬語**」

敬語動詞	訳	通常語
参る 奉る	お召しになる	着る
	召しあがる	食ふ・飲む
	お乗りになる	乗る

●「覚えておくべき**謙譲語**」

敬語動詞	訳	通常語
奉る （参る）	差し上げる （参上する）	与ふ （行く・来）
侍り 候ふ	お仕えする	仕ふ

●「覚えておくべき**丁寧語**」

敬語動詞	訳	通常語
侍り 候ふ	あります・おります	あり・居り

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★本動詞の「奉る」と「参る」→「　　」か「　　」

「　　」
- 「　　」お召しになる
- 「　　」召しあがる
- 「　　」お乗りになる

（例）
宮は、白き御衣どもに紅の唐綾をぞ上に**奉り**たる。
（体調が悪くて）物もつゆばかり**参ら**ず。
御車に**奉り**て…

「　　」＝「　　」「　　」（「参る」のみ）

（例）
「（銀の軟挺（＝銀貨））三つをば**奉ら**ん。」と言ひて、…
宮（＝中宮様のもと）に初めて**参り**たるころ、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　次の傍線部を現代語訳せよ。

①　御文奉りたまふ。

②　右大弁の子のやうに思はせて率て奉る。

③　ほかにて酒など参り、酔ひて…。

④　親王(みこ)に馬頭(うまのかみ)〔＝馬寮(めれう)の長官〕、大御酒(おほみき)参る。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　次の傍線部Ａ・Ｂについて。傍線部Ａを七字以内の現代語で言い換えよ。また、傍線部Ｂは、ここではどういう意味の語の尊敬語か。後の中から最も適切なものを選べ。

「壺なる御薬たてまつれ(A)。穢き所の物きこしめし(B)たれば、御心地悪しからむものぞ」とて、持て寄りたれば、いささかなめたまひて、…

Ａ＝

Ｂ　ア　聞く　　イ　触る　　ウ　嗅ぐ
　　エ　食ふ　　オ　着る　　カ　見る

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★本動詞の「侍り」と「候ふ」→「　　」か「　　」

「　　」＝あります・おります

（例）何の悔いか**はべら**む。

「　　」＝「　　」

※貴人に
　貴人がいる場所に ｝＋｛ 侍り
　　　　　　　　　　　　 候ふ ＝「　　」の本動詞

（例）後一条院の中宮に**侍り**ける出雲の御（ご）といふが…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問九　次の傍線部の意味として最適なものを、後の中から選べ。

「[*1]悦は、[*2]近衛殿（こノえどの）（応山公）に侍りて、筆法を学び奉りけり。」

＊１　悦＝本阿弥光悦（こうえつ）。安土桃山時代から江戸時代初期の書家・工芸家。

＊２　近衛殿＝江戸時代初期の公家・近衛信尋（のぶひろ）。後陽成（ごようぜい）天皇の皇子で、近衛家を継ぎ関白となる。優れた書を残す。

ア　取り入って　　イ　警護を任されて　　ウ　気に入られて

エ　お仕えして　　オ　期待されて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講

① 次の「たまふ」に関する説明文の空欄 A ～ F に入る最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

「たまふ」は、四段活用の場合は[A]の意味で、下二段活用の場合は[B]の意味となる。四段活用の場合は動詞としても[C]としても自由に用い、地の文、[D]ともに無関係に用いる。下二段活用の場合は多くは「思ふ」「見る」「聞く」に続く[E]としての用法にほぼ限られ、[F]に集中して用いられる。

ア　謙譲　　イ　尊敬　　ウ　補助動詞　　エ　会話文　　オ　地の文　　カ　助動詞

A＝　　B＝　　C＝　　D＝　　E＝　　F＝

② 次の傍線部の説明として最も適当なものを、後の中からそれぞれ選べ。

「いとありがたく[a]侍りけれ。」

「よき歌[b]つかうまつれ」とおほせらるる…

ア　尊敬の本動詞　　イ　謙譲の本動詞　　ウ　丁寧の補助動詞

エ　丁寧の本動詞　　オ　謙譲の補助動詞

a＝　　b＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③　次の傍線部の敬語の種類として最も適切なものを、後の中からそれぞれ選べ。

涙ぐませたまへる、…
涙にむせびて、え聞こえやらず。

ア　尊敬語　　イ　謙譲語　　ウ　丁寧語

a＝　　b＝

④　次の傍線部は、この場合どのような意味に使われているか。最も適当なものを後の中から選べ。（本文中略あり）

車さし寄せて乗らむとて、…このせうとなる人なむ、「はや奉りなむ」とて、やがて乗りて、抱へてものしぬ。

ア　差し上げる　　イ　お乗りになる　　ウ　乗らせる
エ　お召しになる　　オ　お食べになる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二十三講　模範解答

問一　a　イ　b　ア

問二　ハ行下二段活用・謙譲語

問三　ア

問四　イ

問五　イ

問六　ウ

問七　①　差し上げなさる　②　引き連れ申し上げる

③　お飲みになり（召しあがり）　④　差し上げる

問八　A　お飲みなさい　B　エ

問九　エ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二十三講　模範解答・解説

〔解説〕

① 四段活用の「たまふ」が尊敬。四段の「たまふ」は本動詞と補助動詞がある。下二段活用の「たまふ」が謙譲。こちらはほとんどが補助動詞で、会話文中や手紙文中のみで使用される。

② a 用言の下で「侍り」なので丁寧の補助動詞。よって、正解はウ。

b 本動詞で「つかうまつる」は謙譲語。よって、正解はイ。ちなみに、「歌つかうまつれ」なので、「お仕えする」ではなく、「歌をお詠み申し上げよ」という訳になる。

③ a 助動詞の下で「たまへ」なので補助動詞。「思ふ・覚ゆ・見る・聞く・知る」以外に付いていることから尊敬である。よって、正解はア。

b 本動詞「聞こゆ」に補助動詞「やる」が付いて「聞こえやる」。「聞こゆ」は「申し上げる」と訳す謙譲語。よって、正解はイ。

④ 傍線部の「奉り」は、補助動詞の型にあてはまらないので本動詞。「車に乗る」という文脈で使われているので、尊敬語「お乗りになる」である。よって、正解はイ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔解答〕

① A イ　B ア　C ウ　D エ　E ウ　F エ

② a ウ　b イ

③ a ア　b イ

④ イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。